

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学10							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	4期	川崎 有子		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	臨床柔道整復学		座学	1	10		
科目概要							
柔道整復術では損傷の経過や患部の所見に合わせて適切な損傷の評価と後療法を実施しなければならない。基礎となる解剖学的視点から関節損傷を理解し、外傷保存療法に必要な臨床知識を学ぶ。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	各関節の脱臼を正しく理解できるようになるために、症状の判断・治療・予後の評価に必要な知識を習得し臨床技能を身につける。						
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 各関節の構造を理解し柔道整復理論と結びつけることができるようになる。 2. 関節損傷の原因、発生機序を理解し、暗記し列挙できるようにする。 3. 関節損傷の固定法・後療法・予後について暗記し列挙できるようにする。 4. 問題を読み解く力を身につけ、正・誤の理解ができるようになる。					
履修に必要な予備知識や技能							
柔道整復理論の理解には運動器の構造機能の理解が必須である。「解剖学」(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)で確認すること。							
教科書・参考書							
教科書:「柔道整復理論・総論 改訂第6版」 参考書:「柔道整復学・実技編 改訂第2版」							
受講上の注意							
解剖学の骨・筋・靭帯・関節構造の予習復習は必須。 短期記憶から中期記憶、中期記憶から長期記憶となるよう、復習を充分に行ってください。 確認テストを毎回実施するため、予習・復習を行うこと。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	上肢の脱臼(鎖骨脱臼・肩鎖関節脱臼) 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 鎖骨・肩鎖関節脱臼確認テスト			教科書 P225-228	筆記用具		
第2回	上肢の脱臼(鎖骨脱臼・肩鎖関節脱臼) 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 鎖骨・肩鎖関節脱臼確認テスト			教科書 P225-228	筆記用具		
第3回	上肢の脱臼(肘関節脱臼・手関節脱臼) 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 肘・手関節脱臼確認テスト			教科書 P280-283 P339-P350	筆記用具		
第4回	上肢の脱臼(肘関節脱臼・手関節脱臼) 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 肘・手関節脱臼確認テスト			教科書 P280-283 P339-P350	筆記用具		
第5回	上肢の脱臼(手指脱臼) 下肢の脱臼(股関節脱臼) 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 手指・股関節脱臼確認テスト			教科書 P339-P350 P366-P370	筆記用具		
第6回	上肢の脱臼(手指脱臼) 下肢の脱臼(股関節脱臼) 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 手指・股関節脱臼確認テスト			教科書 P339-P350 P366-P370	筆記用具		
第7回	下肢の脱臼(膝関節脱臼・膝蓋骨脱臼) 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 膝関節・膝蓋骨脱臼確認テスト			教科書 P397-P399 P401	筆記用具		
第8回	下肢の脱臼(膝蓋骨脱臼・足部脱臼) 発生概要・症状・所見・治療法について理解を深め暗記する。 膝蓋骨・足部脱臼確認テスト			教科書 P401 P450-P452	筆記用具		
第9回	定期試験				筆記用具 学生証		
第10回	既習範囲復習 上肢・下肢の脱臼について確認小テスト			教科書	筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
接骨院、整形外科、介護施設で勤務、現在までの臨床経験を踏まえ臨床で重要な知識を講義していく。							
メールアドレス							
kawasaki@nihonisen.ac.jp							